



骨盤臓器脱の 3D腹腔鏡下仙骨腔 固定術を実施

INDEX

■3D腹腔鏡下仙骨腔固定術

海老名総合病院泌尿器科
病診連携で患者ファーストな先進医療を目指す

■365日リハビリテーション

JMAグループ リハビリテーション科
海老名・座間地区と埼玉地区で運用スタート

■病院と在宅をつなぐ架け橋

JMA東埼玉訪問看護ステーション
病院と連携し、質の高い看護を提供

埼玉地区

- 医 療** 東埼玉総合病院
埼玉県幸手市吉野 517-5 TEL:0480-40-1311
- 東埼玉総合病院附属 清地クリニック
埼玉県北葛飾郡杉戸町清地 5-1-2 TEL:0480-37-2511
- 特別養護老人ホーム はなみずき
埼玉県北葛飾郡杉戸町大字茨島 731-1 TEL:0480-37-4165
- 居宅介護支援事業所 ケアネット東埼玉こころ
埼玉県北葛飾郡杉戸町清地 2-1-2 TEL:0480-33-2292
- 居宅介護支援事業所 ケアネット東埼玉あゆみ
埼玉県北葛飾郡杉戸町清地 2-1-2 TEL:0480-33-2838
- 居宅介護支援事業所 ケアネット東埼玉きぼう
埼玉県幸手市吉野 517-5 TEL:0480-40-1320
- 福 祉** 訪問看護事業所 JMA 東埼玉訪問看護ステーション 東埼玉総合病院内
埼玉県幸手市吉野 517-5 TEL:0480-53-8471
- 訪問介護事業所 ヘルパーネット東埼玉
埼玉県北葛飾郡杉戸町清地 2-1-2 TEL:0480-31-0561
- 福祉用具貸与・販売事業所 ケアレンタル東埼玉
埼玉県北葛飾郡杉戸町清地 5-1-2 TEL:0480-32-2517
- 通所介護事業所 デイサービス東埼玉
埼玉県北葛飾郡杉戸町清地 2-1-2 TEL:0480-34-2063
- 通所リハビリテーション事業所
東埼玉総合病院附属清地クリニック 通所リハビリセンター
埼玉県北葛飾郡杉戸町清地 5-1-2 TEL:0480-37-3711

横浜地区

- 福 祉** 横浜市立脳卒中・神経脊髄センター
介護老人保健施設 コスモス
神奈川県横浜市磯子区滝頭 1-2-1 TEL:045-751-4165
- 居宅介護支援事業所 ケアネット磯子 介護老人保健施設 コスモス内
神奈川県横浜市磯子区滝頭 1-2-1 TEL:045-750-0086

静岡地区

- 医 療** 下田メディカルセンター
静岡県下田市 6-4-10 TEL:0558-25-2525
- 下田メディカルセンター附属 みなとクリニック
静岡県加茂郡南伊豆町湊 674 TEL:0558-62-0005
- しらはまクリニック
静岡県下田市白浜 1528-2 TEL:0558-27-3700
- 福 祉** 介護老人保健施設 なぎさ園
静岡県加茂郡南伊豆町湊 674 TEL:0558-62-6800

海老名・座間地区

- 海老名総合病院
神奈川県海老名市河原口 1320 TEL:046-233-1311
- 座間総合病院
神奈川県座間市相武台 1-50-1 TEL:046-251-1311
- 医 療** 海老名メディカルプラザ
神奈川県海老名市中野 439-1 TEL:046-292-0222
- 海老名メディカルサポートクリニック
神奈川県海老名市河原口 1519 TEL:046-235-1311
- 海老名ケアサポートセンター
神奈川県海老名市今里 1-10-12 TEL:046-232-0606
- 今里クリニック 海老名ケアサポートセンター内
神奈川県海老名市今里 1-10-12 TEL:046-232-8222
- 保 健** ヘルスサポートセンター 海老名メディカルサポートクリニック内
神奈川県海老名市河原口 1519 TEL:046-292-1311
- 介護老人保健施設 アゼリア
神奈川県海老名市河原口 1357-1 TEL:046-231-1311
- 特別養護老人ホーム さつき
神奈川県海老名市河原口 1383 TEL:046-232-1318
- 特別養護老人ホーム シェ・モア
神奈川県海老名市河原口 1581 TEL:046-236-1318
- 特別養護老人ホーム 和心
神奈川県海老名市大谷南 3-20-15 TEL:046-236-4165
- 特別養護老人ホーム 陽だまり
神奈川県海老名市社家 505 TEL:046-237-4165
- 居宅介護支援事業所 ケアネット海老名第Ⅰ 海老名ケアサポートセンター内
神奈川県海老名市今里 1-10-12 TEL:046-292-1540
- 居宅介護支援事業所 ケアネット海老名第Ⅱ 海老名ケアサポートセンター内
神奈川県海老名市今里 1-10-12 TEL:046-234-7480
- 居宅介護支援事業所 ケアネット座間
神奈川県海老名市相武台 1-50-1 TEL:046-251-8088
- 福 祉** 訪問看護事業所 JMA 海老名訪問看護ステーション 海老名ケアサポートセンター内
神奈川県座間市今里 1-10-12 TEL:046-235-5955
- 訪問介護事業所 ヘルパーネット海老名 海老名ケアサポートセンター内
神奈川県海老名市今里 1-10-12 TEL:046-292-3288
- 福祉用具貸与・販売・住宅改修事業所 ケアレンタル海老名 海老名ケアサポートセンター内
神奈川県海老名市今里 1-10-12 TEL:046-235-7012
- 通所リハビリテーション事業所 今里リハビリステーション 海老名ケアサポートセンター内
神奈川県海老名市今里 1-10-12
TEL:046-232-0606
- 訪問介護事業所 今里ヘルパーステーション 海老名ケアサポートセンター内
神奈川県海老名市今里 1-10-12
TEL:046-232-0606
- サービス付高齢者向け住宅 カサポニー夕海老名 海老名ケアサポートセンター内
神奈川県海老名市今里 1-10-12
TEL:046-232-0606
- 地域包括支援センター 海老名東地域包括支援センター
神奈川県海老名市東柏ヶ谷 3-5-1 ウェルストーン相模野102号
TEL:046-292-1411
- 地域包括支援センター 海老名中央地域包括支援センター 海老名メディカルサポートクリニック内
神奈川県海老名市河原口 1519
TEL:046-234-2973
- 保 育** 認可保育所 すこやかハウス
神奈川県海老名市河原口 1599-1 TEL:046-234-4152

「あさがお」2018年<vol.17>
発行日：2018年3月
社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス
神奈川県海老名市河原口 1519 海老名メディカルサポートクリニック内
本部 経営企画部 広報室 TEL:046-235-0765



診療科の最前線レポート

骨盤臓器脱の3D腹腔鏡下仙骨脛固定術を実施
病診連携で患者ファーストな先進医療を目指す

週6日の紹介外来と救急対応。
逆紹介を積極的にお願する他の医療機関との
連携によって、専門医療の提供を続けています。

海老名総合病院 泌尿器科では、
どのような医療を提供していますか。

当院がある神奈川県東地域は、泌尿器科
医の少ない地域です。そうしたなか、常勤医
師6名で、地域の医療ニーズにお応えしてい
ます。

排尿障害、尿路感染症、膀胱炎といった良
性疾患から、前立腺癌などの悪性疾患まで広
範囲な治療をしています。他の医療機関で泌
尿器の疾患が疑われ、その先生からの紹介
で受診される患者さんも目立ちます。そのた
め月曜日から土曜日まで一般外来とは別に紹
介外来を行っています。

紹介外来ではどのような疾病の方の
受診がありますか。

排尿障害などで内科を受診して、前立腺癌
腫瘍マーカーの値が高かったというケースが
多いです。また、救急対応では尿管結石で緊
急手術ということもあります。

一般外来には毎日、60名を超える患者さん
がいらつやいます。泌尿器科のクリニック
が少ない地域なので、軽症の患者さんも多い
のが特徴です。そのため待ち時間が長くなっ
てしまい、患者さんにはご迷惑をおかけして
います。

そこで、ご紹介いただいた患者さんが良性
疾患の場合、こちらで診断と処方をしたうえ
で、自宅近隣の医療機関へ逆紹介するよう
にしています。

病診連携を積極的に進めている。

症状が改善して喜ばれている姿を見ると、この
手術をしてよかったですね。

どうして骨盤臓器脱の治療が
受けにくいのですか。

まずは相談するのが恥ずかしいようです。
また、手術などの治療方法があることを知ら
ない患者さんもいらつやいます。そして、
近隣地域の先生方がこのような手術を当院で
行っていることをご存じない、ということも
あると思います。そのため、病院の待合ディ
スプレイを利用して病気の情報や治療方法を
放映したり、市民向けの健康講座で骨盤臓器
脱の治療を紹介するなどしています。しか
し、近隣の医療機関へのご案内がまだま
まできていないのが課題です。

結石の治療では最新装置を
導入したそうですね。

尿路（腎・尿管）結石の治療は体外から
衝撃波を当てて砕石する方法と、内視鏡を
挿入し、破碎する方法があります。当院で
は2016年よりレーザー機器を導入し、
内視鏡下での結石破碎術を行っています。

遠くから受診する患者さんも多くいます。

そして受診の待ち時間も短いです。それなら良
性疾患だと、診察時間は短い。それならば、
お住まいの近くにある医療機関で治療できれ
ば患者さんの受診負担も軽減できます。

癌などの悪性患者さんは診察にも時間がか
かります。そのため良性の軽症疾患について
は、近所のクリニックなどで診ていただき、
当院では総合病院としてしなればならな
い、診断や手術などの専門医療を担っていく
病診連携をすすめています。

そのため地域の先生のところへ、当院の地
域連携課の職員とともに訪問させていただ
き、逆紹介のご説明をしています。

もちろん症状が変化したときなどは、こち
らですぐに対応いたしますので、連携のご協
力をお願いしています。

どのようなきっかけから、
病診連携に取り組みはじめたのですか。

若いころに1年ほど勤務した東京の市中病
院で、熱心に病診連携をされている先生に出
会ったことがきっかけです。現在、その病院
の名誉院長になられていますが、当初泌尿器
科に勤め始めた頃はお一人で診療されてい
たそうです。診療の傍ら、地域の先生方と勉強
会を開催するなどしながら関係を深めること
で、地域連携のコミュニティを育ててい
たのです。そのような取り組みにより、今では
その地域の中核病院になり、常勤医師も増
え、年間千件以上の手術をするまでになっ
ています。

体外衝撃波に比べ固い結石が破碎しやす
く、またバスケットカテーテルで結石を
取ってくださることもできます。

以前であれば他の医療機関に紹介してい
たことが多かったのですが、レーザーを導
入したことで尿管結石の手術が大幅に増え
ています。

最新の治療を積極的に導入しています。

医療技術の向上のために、最新治療を実
施している医療機関へ研修に出向くなど、
最新の治療を提供できるように取り組んで
います。

私は大学病院に戻ってから、いかに地域の
先生方と連携が持てるのかを考えていました
が、大学では早ければ1年ほどで転勤になる
ことが多く、また地域連携の業務に携わるこ
とができる立場でもありませんでした。そん
な中、5年前に海老名総合病院に着任し、上
司の先生や地域連携室の方々といういろいろ相談
しながら、この先生がやられていたことなど
を参考に地域の先生方との関係づくりに取り
組んできました。

海老名総合病院 泌尿器科では
腹腔鏡下手術の実績が増えています。

患者さんの負担が少なく安全性も高い低侵
襲手術を目指しています。2015年には3
D腹腔鏡下を導入したことにより、より安全
で的確な手術ができるようになり、手術時間
も短縮しました。

術者は専用メガネを装着してモニターの3
D映像を見ながら手術をすすめます。従来の平
面映像よりも奥行きを確かめることができま
す。とくに縫合などの細かな手技でその精度
が向上します。臓器損傷のリスクも低くなり、
術後の合併症予防にもつながっています。

3D腹腔鏡手術はどのような
疾病で適用となりますか。
前立腺癌、腎癌など、多くの疾病で用い
ています。そのなかでもとくに骨盤臓器脱の治
療は3D腹腔鏡の恩恵を受けています。
膀胱や膈、直腸がとび出す骨盤臓器脱の
腹腔鏡下仙骨脛固定術ではメッシュによって
子宮を仙骨前面の靭帯に固定します。縫合が
多い術式なので、細かな手技を安全に行いや
すい3D腹腔鏡では手術時間の大幅な短縮
にもつながっています。

骨盤臓器脱の3D腹腔鏡下仙骨脛固定術を
希望して受診する患者さんが
多いそうですね。

県下でもこの手術ができる医療機関は少な
く、遠方から受診してくる患者さんもいらつ
やいます。大学病院や県外の医療機関から紹
介されることもあります。

骨盤臓器脱が改善することにより、臓器脱症
状のほかに排尿障害などの症状も改善するこ
とがあります。この治療法に巡り合えず長年にわ
たり悩んでいた患者さんも多く、そういう方の



海老名総合病院
泌尿器科部長
小林 博仁

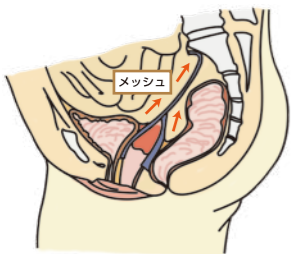
平成24年に入職。平成29年より泌尿器部長と
して現在に至る。専門は悪性腫瘍、腹腔鏡手
術、女性泌尿器科。
〈資格〉
医学博士、日本泌尿器科学会専門医・指導
医、がん治療認定医、日本泌尿器内視鏡学会・
日本内視鏡外科学会 腹腔鏡技術認定医

海老名総合病院
紹介外来と地域連携課

月曜日から土曜日、当日の受診予約も可能。
予約とお問い合わせの窓口は地域連携課です。
重症患者さんのご紹介の場合は、受診予約時
に担当医が電話対応することもあります。

☎ 046-234-6719
(海老名総合病院 地域連携課 直通)

3D腹腔鏡下仙骨脛固定術



臓器脱の治療として実施していま
す。子宮の上下にメッシュを設置。
これを仙骨前面の靭帯に縫いつけ
ることで、上部から吊り上げるよ
うに固定します。子宮の下部から押し
あげるようにして固定する術式より
メッシュのズレが少ないのが特徴
です。

病院内にある訪問看護ステーションは 看護部との連携で、先進医療と生活をつなぐ



東埼玉総合病院の総合力で訪問看護を展開しています。訪問看護師では判断が難しいケースは、病院内の認定看護師が訪問に同行して、訪問看護師とともに看護計画を検討しています。また日常的にも助言を求めると、訪問看護ステーションと看護部の連携は緊密です。そうしたバックアップがあるからこそ、医療依存度が高い方やターミナル患者の訪問を積極的に受けられるのです。

病棟の看護師も同行訪問で在宅の様子を知ると、病棟での看護も変わります。訪問看護師にとつては病院内の研修に参加することができると、看護力を高めながら働ける環境です。訪問看護は一人で患者と向き合うことが多いので、自身の看護について客観的な評価を受けにくい状況にあります。それでも病院内のステーションであれば、病棟看護師と同じように、研修によって常に新しい看護知識を得ることが出来ます。

このように、拠点が病院の中にあるという環境を最大限に活かすことで、質の高い訪問看護を提供しています。

病院看護部と訪問看護ステーションの連携

での看護を見直すきっかけになります。病院は医療機器や専門職が整ったフルスペックの環境です。そこでベストの看護を提供していたとしても、それを本人や家族による在宅生活で継続するにはハードルが高いこともあります。そのため入院中から家族の介護力や生活習慣という在宅環境を意識して看護することができれば、それは退院後の治療成績の向上につながります。

インタビュー

JMA東埼玉訪問看護ステーション

所長 矢嶋 宮子

Point

1. 断らない訪問看護
2. 病院をあげてのバックアップ体制
3. 認知症ケアは訪問看護が支える
4. ていねいな退院支援からの在宅復帰
5. 病棟看護に生活中心の医療を伝える
6. 週5日の訪問リハビリテーション



認知症と服薬管理が心配です

JMA東埼玉訪問看護ステーションは24時間体制で利用者の療養生活を支えています。登録利用者数がこの数年で倍増した理由について所長の矢嶋宮子さんは、「ケアマネジャーさんなどのご依頼を原則としてお断りしていないから」と話します。

ここ数年で看護師などの職員数を増やすことができたので、夜間も含めての対応がしやすくなりました。緩和ケアの認定看護師も在籍しており、ターミナル期の利用が多いのも特徴です。

また介護保険で利用される方のうち、認知症のケースが目立つようになってきました。「訪問看護で認知症の方の生活を整えます」利用する方々の目的の第一は服薬管理です。複数の診療科から多剤処方されているポリファーマシーのほか、飲み忘れや飲み過ぎといった服薬コンプライアンスも心配です。

「お薬の管理が難しい認知症の一人暮らしや高齢者の二人世帯が増えています。お薬の影響と思われる事故も起きてきます」睡眠障害やめまいで悩んでいる利用者も、適切でない薬の服用が原因かもしれません。一人暮らしだと、適切に服薬することができずに、何らかの症状がでていても本人は気が付きにくいものです。そうしたことも、生活の場に入っていく訪問看護師だからこそ気づくことができます。

訪問看護とポリファーマシー

「私たちの活動している地域では訪問する薬剤師さんがまだ少ないので、看護師がお薬の管理もしています」

多剤処方のポリファーマシーは、各診療科では適切に処方されていても複数の医療機関にかかると、全ての薬を把握することが困難になる場合があり、一医療機関では対応が難しい

訪問リハの体制を拡充

訪問リハビリテーションの希望は増えていますが、これまで、これまでの週3回から、月曜日から金曜日までの週5回体制に拡充しました。

「訪問リハでは、日常生活で必要となる動作のリハビリを行います」

たとえば、理学療法士は入浴するといった目標に向けて、麻痺などの障害を抱えた身体に合わせて動作方法を練習します。そうすることで活動参加を実現していきます。これは機能回復を目指す病院内リハビリテーションとの大きな違いです。

最近増えているのが呼吸器リハビリテーションです。「在宅酸素療法を行っている方は、麻痺などの身体障害はなくても、運動すると苦しいので活動量が低下傾向にあります。そこで呼吸と運動を同調させて苦しくなく運動が行えるよう練習しています」

地域包括ケア相談窓口「菜のはな」

利用者の7割近くは東埼玉総合病院から退院



- 登録患者数 112名
- うち医療保険 30%
- 介護保険 70%
- 職員体制
- 看護師 常勤5名 非常勤1名
- 理学療法士 非常勤2名
- 訪問リハビリテーション
- 月曜日～金曜日

JMA東埼玉訪問看護ステーション
TEL:0480-53-8471

といわれています。そこで訪問看護師が利用者の自宅で服薬管理に取り組みます。

訪問先でまず最初にするのは、飲んでいる薬をすべて出してもらうこと。

「いつ処方されたかも分からない薬が出てきます。今は通院していない病院の薬も出てきますから、薬袋を手掛かりに整理します」

そして新しい薬を選び、まずは主治医が処方している薬のみを服薬してもらいます。次に「症状と照らし合わせながら、お薬のパズルを解いていきます」

認知症の方が医療機関を受診するとき、ケアマネジャーが同行する場合は、そこで医師と相談して、不要な薬を整理していきます。

また認知症と糖尿病などの合併が目立つとい、訪問看護を利用することで適切な治療と管理ができるようになり、治療成績も向上します。

医師を含めた多職種との情報共有

このように要介護認定をされているケースで重要なことは、ケアマネジャーとの連携です。

医療的に必要なことをケアマネジャーに伝えて、それをケアプランに組み入れてもらいます。そして日々のケアを担っている介護ヘルパーにも周知します。いくら訪問看護師が活動しても、介護ヘルパーや家族と注意事項などを共有できなければ在宅生活は改善しないので、周りとの連携は重要です。

矢嶋さんは「些細なことでもケアマネジャーへ報告するように心がけています」と話します。在宅での多職種連携は、関わるスタッフがその場に居合わせません。そのため小さな擦過傷などの軽傷でも記録に残して情報を共有します。これは日々、顔を合わせることでできる病院内の多職種連携以上に配慮をしています。

してきたケースです。そのほか病院内に設置されている相談窓口の在宅医療連携拠点「菜のはな」で紹介されてきた利用者も目立ちます。

「がん治療を終えて都内の病院を退院することになりました、とご家族が相談してくるようなケースがあります」

病院を退院後に訪問看護を利用するケースでは、病棟で退院支援を担当した看護師が在宅の様子を確認するために同行訪問する取り組みもはじまっています。これは入院から在宅ケアへのスムーズな移行につながる連携です。

所長の矢嶋さんはデイサービスの元管理者。異動で訪問看護に関わるようになりました。

「訪問看護は看護の原点だと思っようになりました。病棟では看護も機能分化されていますが、訪問看護では家族背景も含めてすべてに配慮しながら調整します。それがこの仕事の醍醐味です」

子育てしながら働く職員も多いJMA東埼玉訪問看護ステーション。働く環境整備や研修を充実させて、訪問看護の向上に取り組んでいます。



365日リハビリテーションのアクションプラン

平成25年度(2013年)

- ・水曜診療枠の拡大 **海老名**

平成26年度(2014年)

- ・長期休暇のリハ提供開始 **海老名**
(年始年末・GW)
- ・スタッフ教育の充実

平成27年度(2015年)

- ・祭日、土曜午後のリハ提供開始 **海老名**

平成28年度(2016年)

- ・座間総合病院開設
(回復期リハビリテーション病棟)

平成29年度(2017年) **海老名 座間 埼玉**

- ・全病棟365日リハ提供開始



社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス
本部 医療技術部 リハビリテーション科 科長
湯田 健二

平成3年に入職。入職当初より呼吸器疾患等様々な疾患を対象に理学療法の経験を重ね、平成14年より股関節疾患を中心とした整形外科疾患を担当する。

平成17年にリハビリテーション科科長となり、現在ではJMAグループ内全施設リハビリテーション科の統括を担っている。

拡大していく予定で、術前から脳梗塞などの脳血管疾患の既往やCOPDなどの呼吸器疾患を有している患者さんが対象となります。

また、手術見学を積極的に行っていきます。平面画像ではなく、関節や心臓がどういった状態なのか直接確認できる機会からです。このことで評価の精度が向上し、回復期や生活期でのリハビリにもつながっていきます。こうした取り組みは医師と緊密な関係があるからこそできることです。

365日リハは急性期においても重要です。週末にリハビリの提供がない場合、金曜日に手術を受けた患者さんへの介入は月曜からスタートすることになります。この2日間、何もしなければ運動機能は大幅に低下し、寝たきりの原因にもなりません。

急性期リハスタッフが 転院先へ出向く

急性期、回復期、生活期をシムレスにつなぐために、各施設に所属しているスタッフの連携をすすめています。回復期・生活期のスタッフが急性期病棟へ出向いて、転院予定の患者さんとお会いする試みもしています。転院前からリハビリ計画づくりに着手できるだけでなく、患者さんやご家族は、次の病院や施設で担当になるスタッフをあらかじめ知れるので不安を和らげることができます。

逆に急性期のスタッフが患者さんの転院先に向いて状態を確認する取り組みも試行しています。転院後の様子を知ること、生活までを見通した計画づくりになる期待しています。

急性期や回復期から退院後、訪問リハビリを開始するまで2週間

疾病別チームで病棟と連携

海老名総合病院では、これまで患者担当制でリハビリを提供してきました。それも365日リハ開始に合わせて、主担当と副担当の二人体制に変更したのですが、そのことで複数の担当者が関わるようになり、スタッフ間の情報共有が進みました。

またリハビリテーション科は整形外科や脳神経外科、心臓血管センターなどの科ごとの連携を深めるために疾病別チームで活動しています。そうすることで各病棟の看護師は、それがどの診療科の担当スタッフなのかを認識しやすくなり、日々の多職種連携がスムーズになりました。

このように、JMAグループでは

急性期・回復期・生活期というフェーズだけでなく、各施設内の連携、また個別職員のキャリアアップにも取り組んでいます。神奈川県を中心に展開している様々な取り組みを、今後は他の地区でも導入をしていきたいと思っています。

365日リハの実現は、海老名地区における平成19年の病院機能再編で急性期病院の役割を見直していくなかで出てきました。それを実現するためにリハスタッフの教育システムを再構築することが必要でしたが、そうした準備期間を経て、ようやく埼玉県・神奈川県・座間地区の全病棟での365日リハをスタートすることができました。今後は、高齢化と医療過疎という課題に直面している静岡県でも、JMAグループの相互協力によって365日リハの開始を目指しています。

リハビリテーション科

海老名・座間地区と埼玉地区で 365日リハビリテーションを開始

高度専門医療を担う急性期病棟での早期リハビリテーションは、全国的にも数少ない先進的な取り組みだ。急性期、回復期、生活期で医療介護をシームレスに提供すること目指しているJMAグループでは、その特色を活かすために365日リハビリテーションを実現した。



年中無休のリハビリテーション

海老名総合病院、座間総合病院、東埼玉総合病院では、2017年度から全病棟で365日リハビリテーションを開始しました。二次や三次救急も担っている高度専門医療機関の急性期病棟におけるリハビリテーション(以下、リハビリ)の早期介入は先進的な取り組みです。

この365日リハを実現するために、JMAグループでは平成29年度に75名ものリハリストスタッフ(以下、リハスタッフ)を採用するビッグチャレンジを実施しました。

急性期から回復期、そして生活期までトータルで医療を提供していることはJMAグループの特徴です。そのことを活かすためにも、急性期における早期リハビリは取り組まなければならない課題でした。

生活期を意識したリハ研修

多くの入院患者さんにとって、自宅での生活は治療のゴールです。そのため急性期で早期介入するとき、リハスタッフは生活というゴールを意識することが求められます。そこで海老名・座間地区では、急性期で採用された職員も、回復期と生活期での研修を行い、その後正式配属となる研修体制をとっています。原則として各フェーズで1週間程度のOJT

周術期の介入で、 リハビリの質向上

海老名総合病院では、リハスタッフが患者さんに対し、術前評価を行っています。術後に離床が難渋し、介入が必要となりそうな患者さんを術前からピックアップするのがその目的です。病院内の周術期管理チームにリハスタッフも参加して、スクリーニング項目の検討を行ってきました。これは外科の患者さんを対象に行っている取り組みです。今後は対象科をさらに

研修を受けています。とくに生活期での経験は、急性期や回復期で提供するリハビリの質向上のためには重要となります。

リハビリでは予後予測をしながら介入します。しかし急性期においてはリスク管理が優先されやすく、短期的な目標設定となってしまう可能性があります。そのとき、生活期のリハビリを経験していると、自宅での生活を想定した計画を立てられるようになり、状況に応じて先を見据えた身体機能の構築を図ることが出来ます。また場合によっては家族指導を入れることもあります。

入職5年目、10年目には、今後のキャリアアップを見つめ直すきっかけとして、生活期の訪問リハビリや回復期などを3ヶ月から半年ほど経験する研修も計画しています。